

# 流域下水道事業会計

## 令和元年度和歌山県流域下水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
			千円	千円	千円	
1	流域下水道事業収益		2,814,314	△159,770	2,654,544	
	1	営業収益	819,274	△56,959	762,315	
		1	819,274	△56,959	762,315	紀の川流域 △56,959
		1	819,274	△56,959	762,315	紀の川流域 △56,959
	2	営業外収益	1,995,040	△102,811	1,892,229	
		1	363,591	△66,159	297,432	紀の川流域 △13,237 紀の川中流流域 △52,785 公営企業会計導入 △137
		2	51,198	△36,670	14,528	紀の川流域 △11,874 紀の川中流流域 △24,796
		3	4,875	18	4,893	紀の川流域 9 紀の川中流流域 9

支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1流域下水道事業費用	1 営 業 費 用		千円 2,814,314	千円 △159,770	千円 2,654,544	
			2,564,927	△152,732	2,412,195	
		1 管渠・ポンプ場・処理場費	989,632	△152,732	836,900	紀の川流域 修繕費 △3,312 委託料 △70,850 建設事務費 △1,344 紀の川中流流域 修繕費 △9,401 委託料 △65,018 建設事務費 △2,807
	2 営 業 外 費 用		249,387	△7,038	242,349	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	188,675	△1,846	186,829	紀の川流域 △1,363 紀の川中流流域 △346 公営企業会計導入 △137
		2 一般会計繰出金	35,753	△5,192	30,561	紀の川流域 △5,192

資 本 的 収 入 及 び 支 出  
収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 収 入	1 企 業 債		千円 1,160,344	千円 21,197	千円 1,181,541	
		1 企 業 債	113,200	10,400	123,600	
		1 企 業 債	113,200	10,400	123,600	紀の川流域 9,300 紀の川中流流域 1,100
	2 補 助 金		933,894	289	934,183	
		1 国 庫 補 助 金	360,500	180	360,680	紀の川流域 紀の川中流流域 180
		2 他 会 計 補 助 金	573,394	109	573,503	紀の川流域 75 紀の川中流流域 34
	3 負 担 金		113,250	10,508	123,758	
		1 建 設 負 担 金	113,250	10,508	123,758	紀の川流域 9,375 紀の川中流流域 1,133

支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費	1 流域下水道建設事業費	<small>千円</small> 1,160,344 587,000 561,000	<small>千円</small> 21,197 21,197 21,197	<small>千円</small> 1,181,541 608,197 582,197	紀の川流域 工事請負費 17,016 委託料 1,734 紀の川中流流域 工事請負費 △7,635 委託料 10,082

## 令和元年度和歌山県流域下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

千円

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	15,629
	減価償却費	1,507,782
	固定資産除却費	67,513
	長期前受金戻入額	△1,575,295
	利息及び企業債取扱諸費	<u>186,829</u>
	小計	202,458
	利息及び企業債取扱諸費の支払額	<u>△186,829</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	15,629
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△448,157
	国庫補助金等による収入	210,800
	一般会計からの繰入金による収入	<u>573,503</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	336,146
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	企業債による収入	108,800
	企業債の償還による支出	<u>△573,344</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,544
	資金増減額	△112,769
	資金期首残高	<u>181,350</u>
	資金期末残高	68,581

## 令和元年度和歌山県流域下水道事業予定貸借対照表

(令和2年3月31日)

千円

千円

千円

千円

### 資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

75,365,390

減 価 償 却 累 計 額

△21,292,148

有 形 固 定 資 産 合 計

54,073,242

(2) 無 形 固 定 資 産

無 形 固 定 資 産 合 計

12,750

固 定 資 産 合 計

54,085,992

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

68,581

(2) 未 収 金

50,000

流 動 資 産 合 計

118,581

資 産 合 計

54,204,573

### 負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

9,117,103

固 定 負 債 合 計

9,117,103



## 注 記

## I. 重要な会計方針に関する注記

## 1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

## 2 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

## ・減価償却の方法

定額法による。

## ・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 30～50年

機械及び装置 8～20年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

## (2) 無形固定資産

## ・減価償却の方法

定額法による。

## 3 引当金の計上方法

## ・貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

## 4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書に関する注記

該当なし。

III. 予定貸借対照表に関する注記

貸借対照表に計上されている企業債については、一般会計が負担する。

IV. セグメント情報に関する注記

該当なし。

V. 減損損失に関する注記

該当なし。

VI. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VII. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VIII. その他の注記

該当なし。

